

JLEM News Letter Vol.39



第44回日本語教育方法研究会開催

発表 56 件 参加者 145 名

第45回は立命館大学（衣笠キャンパス）にて

2015年3月28日(土)、第44回日本語教育方法研究会が学習院大学（東京都）で開催されました。金田智子先生、そして学習院大の先生方や学生の皆さま、大変お世話になりました。

前日3月27日に運営委員会が開かれました。議事については、このレターの記事をご覧ください。

次回の第45回研究会は2015年9月19日に立命館大学において開かれます。みなさまふるってご参加ください。

開催を終えて

金田 智子
(学習院大学)

第44回日本語教育方法研究会は、2015年3月28日(土)に学習院大学で開催されました。全国各地から多くの方にお越しいただき、その充実した一日の間に学内の桜も一気に花を開きました。

当日は、機材の故障によりみなさまに御迷惑をおかけしてしまいました。発表の中断やスケジュールの変更などを引き起こしてしまい、本当に申し訳なく思います。あらためてお詫び申し上げます。

不測の事態が起こる中、発表者の皆様は動じることなく対応をしてくださいました。発表56件のポスター発表がありましたが、ところ狭しと置かれたパネルの前で、発表者の方々がそれぞれの実践について熱く語り、参加者の方々と共にじっくりと意見交換をなさっているのが印象的でした。

日本語教育を専攻しております本学学生や院生がお手伝いをさせていただきましたが、補助作業を通じ、発表の内容についてはもちろんですが、専門家たちの連携・協力のあり方についても学ぶ機会になりました。貴重な機会を頂戴し、本当にありがとうございました。

そして、準備段階から終了まで、衣川さん、小河原さんを始め、運営委員の皆様には本当にお世話になりました。お疲れ様でした。今後、ますます実り多い研究会が開催されますこと心よりお祈りいたします。

次回開催にあたって

平田 裕
(立命館大学)

次回、JLEM第45回研究会(2015年度9月)は立命館大学衣笠キャンパ

スで開催されます。立命館大学は今年度4月より「大阪いばらきキャンパス(OIC)」を開設し、これまでの「衣笠キャンパス」と「びわこ・くさつキャンパス(BKC)」と合わせ3キャンパス体制となりました。(京都には「朱雀キャンパス」もあります。)現在、大学全体で1,300名近くの正規留学生が在籍しており、学部の正規生を対象にした日本語の授業はキャンパス毎に展開しています。短期留学生の日本語プログラムは衣笠を中心に運営されており、Study in Kyoto Programの頭文字を取って「SKP」と呼ばれています。SKPでは、ゼロ初級から上級まで每学期約150名の留学生が日本語を学んでおり、立命館の日本語教育の柱の1つとなっています。

衣笠キャンパスは京都市の西北部にあり、金閣寺、龍安寺、仁和寺、そして等持院などの名刹に囲まれています。(交通手段はバスまたは自転車といったところで、ちょっと不便です。)9月の京都は、日中はまだまだ蒸し暑いことが多いのですが、それも京都の風物の1つとしてご期待下さい。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

第5回JLEM優秀賞

第44回研究会における「優秀賞」

及び「奨励賞」は、以下の研究に授与されました。

「優秀賞」寺嶋弘道・戸坂弥寿美・井上佳子（立命館アジア太平洋大学）・高尾まり子（西南学院大学）

「学外でのインタビュー活動における日本語学習者の意識—日本語学習者が感じる不安と成長—」

「奨励賞」後藤典子（東北文教大学短期大学部）「医療・介護のための山形方言検索の工夫」

審査はこれまで同様、運営委員から選出された審査員、及び、会長・編集委員の6名からなる優秀賞選考委員会の討議によって行われました。

「優秀賞」の寺嶋氏らのグループによる研究は、「インタビュー活動の前後での学習者の不安はどのように変化するか」をアンケートなどによって調査し、その結果から、当該の活動での学習者の成長を論じたものでした。統計的な数値の扱いも適切で、説得的に論証を行っているところも評価されました。

「奨励賞」の後藤氏は、外国人が不明な方言を検索する際の困難点をもとに、検索ツールを開発する際に行った様々な工夫を示したものでした。課題の設定の独自性、また研究の発展性を高く評価する声が上がりましたが、ポスターの視覚的なアピールについては、まだ改善の余地があるため、今回は「奨励賞」を授与することとなりました。

受賞者のポスターは本会のHPでご覧いただけます。この賞が、会員の皆様が研究を行う上での良い刺激になることを期待しています。

（俵山雄司）

総会報告

総会は3月28日(土)に、研究会開催校である学習院大学にて行われました。定足数(3月7日時点での会員総数557名の10分の1以上)を満たしていたため、総会として成立しました。すべての議案に関して、承認されましたので、ここにご報告いたします。

[報告事項]1. 会員管理システムへの移行について

2014年度より運用を開始する予定だった会員管理システムですが、運用上の理由から運用開始を延期し、現在、2015年6月からの運用開始を目指して作業を進めています。運用開始に伴い、ホームページ、問い合わせ先のアドレスが変更となります。また、現在、郵送という形でお送りしていたニューズレター、プログラムの発送を電子媒体にて送付する形に変更します。さらに、会員の皆さんの登録情報や会費支払状況等はホームページにて確認、更新ができるようになります。本格運用開始後、会員の皆様には郵送でホームページにアクセスするためのIDとパスワードを送付しますので、よろしくお願いたします。また、確実に郵送物が届くように、転居やe-mailアドレスの変更がある場合には、ご連絡いただけますようお願いいたします。

[報告事項]2. 会計年度の変更とそれに伴う研究会会場地区の変更

前日に開催された運営委員会において、会計年度の変更とそれに伴う研究会会場地区の変更が提案され、審議した結果承認されました。今回

は運営委員会の承認事項を報告し、改めて9月の研究会で臨時総会を開き、下記の内容について審議する予定です。

①現在、1月から12月までの会計年度を2016年度より4月から3月までに変更する。

②上記の変更に伴い、毎年9月の研究会を各年度の第1回とし、東京圏にて開催する。発行される会誌を各VolのNo.1とする。3月の研究会を各年度の第2回とし、東京圏以外にて開催する。発行される会誌を各VolのNo.2とする。

③移行に伴う措置として、2015年度の会計年度を2015年1月1日から2016年3月31日までの15ヶ月とし、それに伴う特別予算を9月の臨時総会にて審議する。ただし、追加の会費は徴収しない。

④2016年3月の研究会を2015年度第3回研究会として開催する。

[報告事項]3. 会費納入に関するお願い

会計および会員管理の業務の軽減のため、研究会会場での会費の受け取りは、原則として行わない形にしています。会費納入は、ゆうちょ銀行への振込の形で行っていただけますよう、お願いいたします。(ゆうちょ銀行に口座があれば振込手数料は無料です。)

[報告事項]4. 次期研究会について

2015年秋の研究会は、立命館大学にて開催されることになりました。

[審議事項]1. 決算および予算について

2014年度決算および2015年度予

算は、原案通り可決されました。通常12月に支払っている印刷費・送料の一部が、2014年度は2015年になってから請求が来たため、2015年1月に支払いました。そのため、2014年度の支出が少なく、2015年度予算額は多めに設定しています。

[審議事項]2. 運営委員の交代について

新運営委員として、生天目知美氏(東京海洋大学)が選出され、総会で承認されました。また、川村よし子氏、金庭久美子氏、小野正樹氏、渡邊芙裕美氏の退任が承認されました。川村さん、金庭さん、小野さん、渡邊さん、長い間ありがとうございました。

(衣川隆生)

運営委員会報告

運営委員会は、研究会の前日の3月27日(金)に学習院大学において開かれました。23名の運営委員のうち、14名の運営委員が参加し、参加できなかった委員からは委任状が提出されました。

今回の運営委員会で報告、審議されたことのうち、総会報告と重複しないことのみ、以下にご報告いたします。

①会員数

2015年3月7日現在の会員数は557名(うち海外21名)になりました。

②会誌原稿の提出について

発表応募時に提出した要旨の変更は認めないことが確認されました。その方針の徹底にともない、今後原稿提出時には日本語要旨は不要とすることも検討されました。また、本会の編集作業は査読ではないため、校正作業は誤字脱字とフォーマットが合っているかの確認を行うこと、フォーマットに合っていないものは次回投稿を促すことも確認されました。

③バックナンバーの処分について

前回総会で承認された方針に基づき、バックナンバーのVol.19 No.1とNo.2を処分することにしました。

④CiNiiからの移行について

CiNiiへの新規登録ができなくなることに伴い、科学技術振興機構(JST)が運営するJ-STAGEへ移行するかどうかについて議論を行いました。J-STAGEに移行することを基本方針とし、今後、会員の皆様や学術的な価値も検討しつつ、議論を続けることとしました。

(衣川隆生)

事務局よりご連絡

●会員管理システム導入に伴う連絡先の確認

「運営委員会報告」にもありますように、本年度2015年6月、このニューズレターが届くころよりweb上の会員管理システムが導入されます。このシステムを利用するために

は、皆様に個別にIDとパスワードをお送りする必要があります。IDとパスワードは現在会員管理に登録されている住所に郵送にてお送りする予定です。お手元に届きましたら、同封の手順に沿って登録作業を行ってください。確実にIDとパスワードをお送りするために、住所を変更なさっている方は、至急事務局までご連絡ください。7月になってもIDとパスワードが届かない場合は、至急事務局まで御連絡ください。

(小河原義朗)

住所変更 お知らせください

JLEMでは、会誌の発送にクロネコメール便を利用しています。郵便は転居先へ届けるサービスがありますが、クロネコメール便ではお届けできません。住所変更の場合は、速やかに事務局までお知らせください。なお、会員専用サイトの運用が始まりましたら、住所変更はご自身で会員情報の変更をお願いします。

(小河原義朗)

日本語教育方法研究会

<http://jlem-sg.org>

問い合わせ先: jlem-ml@tiu.ac.jp

(レター編集: 本郷智子)

2015年 JLEM 日本語教育方法研究会が大きく変わります!

・会員管理システムの運用開始

・会計年度・研究会開催地域の変更

★会員IDとパスワードがお手元に届きます(詳細は同封の別紙チラシをご覧ください)